

南越農林だより

謹んで新春のお喜びを申し上げます



南越農林総合事務所長
竹内 敏夫

輝かしい新年を迎え、皆様のご健康とご繁栄を心よりお祈り申し上げます。

また、日頃は南越地区の農林業の推進にあたり、深いご理解とご協力を賜り厚く感謝申し上げます。

さて、県の「福井元気宣言」の一つにあります「元気な産業」を実現していくため、当事務所としましては、次代を担う農業者の育成、木材の新たな利用分野の開拓、水資源の安定的確保と効率的な水利用を図るなど各種事業を行ってまいりました。

特に、昭和56年度より行ってきた日野川用水事業につきましては、榎谷ダム・八乙女頭首工や用水路などの整備が完成し、今春の供用開始を迎えようとしております。

今後とも、管内の市町、関係諸団体、生産者の皆さまと連携を密にして、農林業振興に積極的な取り組みを進めてまいりますので、一層のご協力をお願い申し上げます。

本年も皆さまにとりまして明るく実り多い年となりますようご祈念申し上げ、新年のごあいさつといたします。

HELLO!

はじめ
まして

大粒の新鮮なイチゴをお届けします！

平成17年11月に就農し、12月～5月に出荷できるイチゴの生産を任されています。

研修でイチゴ栽培を始めてみると、特に、夏場の育苗作業は手間がかかり、暑くて大変です。

今は手作業ですが、将来はロボットやコンピューターを駆使して、皆がやりたくなるような農業が夢です。

消費者の方から、「明城ファームのイチゴは、大粒で甘くて食べごたえがある。」と言われるよう、頑張っこれからもさらに味の追及をしていきたいです。

県内ではまだ珍しい方法なので、早く仲間を作って、一緒に勉強しながらやっていきたいと思ひます。



越前市杉崎町
明城 義和 (23歳)



南越農林総合事務所

越前市上太田町41-5 TEL (0778) 23-4545

URL <http://info.pref.fukui.jp/nourin/sougou/nanetsu/>

E-mail nan-noso@pref.fukui.lg.jp



健康長寿な福井です。

平成18年1月1日

NO.18

祝 国営日野川用水農業水利事業 完工

昭和56年度に着手した国営日野川用水農業水利事業が完工し、9月2日に越前市のJA越前たけふ会館において、「国営日野川用水農業水利事業完工式典」が開催され、多くの来賓および関係者約300名が出席し、事業の完工を祝いました。

また、完工式典に先立ち、南越前町の榎谷ダムでダム完工記念碑の除幕式が関係市町長や地元住民約150名が出席して行われ、「榎谷ダム」と彫られた記念碑がお披露目され、大きな拍手が送られました。

本事業は、たびたび渇水となる夏場の農業用水の安定確保と水道水、工業用水の供給事業、治水事業との共同事業により整備を進めてきたものです。

水源となる榎谷ダムは岩石や土砂によりつくられた、ロックフィル式ダムで、高さは約100m、有効貯水量は約2,300万立方メートルで、県内4番目の規模です。

ダムから供給された用水は、下流の八乙女頭首工および松ヶ鼻頭首工から取水し、農業用水については、関係する県営事業等により整備された支線水路などにより、来年4月から南越前町、越前市、鯖江市、福井市、清水町の約5,600haの穀倉地帯を潤します。



一般農道整備事業 「水海地区」 全線開通

平成6年度より整備を進めてきました、一般農道整備事業 水海地区の完了を祝い、10月21日に池田町において、交通安全祈願祭と竣工式が行われました。

この農道は、池田町水海地係の県道熊河池田線を起終点とし、一級河川水海川に分断された55haの農地を受益とする、水海川を横断する橋梁2箇所(荒谷橋、安善寺橋)を含めた、延長1,828mの幹線農道です。

今後は、集落一体となった営農や地域活動に取り組めるものと期待されています。



平成17年に表彰された方々

受賞名	受賞者名	受賞名	受賞者名
農業関係(各種選奨事業受賞および知事賞)		林業関係(知事賞以上)	
毎日農業記録賞 最優秀賞	(有)グループつくし(南越前町)	林道工事コンクール (林野庁長官賞)	大和建设(株) (越前市)
地産地消表彰事業	旬菜.comねっと(管内一円)	全国林業経営推奨 (林野庁長官賞)	漆原 信夫 (池田町)
土地改良事業地区営農推進優良事例表彰 全土連会長賞	越前たけふ直播組合(越前市)	良質材生産コンクール (林野庁長官賞)	谷口 諒一 (越前市)
農林漁業とくらしのイメージアップ活動表彰 優良賞	NPO法人かわた夢グリーン(鯖江市)	優良苗畑コンクール	三田村範幸 (越前市)
武生市農産物生産共励会	明城 修一 (越前市)	森林国営保険事業尽力者	長田 弘幸 (越前市) 宮本 康博 (池田町)
野菜バスケットコンクール	山岸ゆり子 (越前市)	南越地域優良材まつり 〔製材品の部〕	棚田 製材 (越前市)
JA越前たけふ農林産物品評会	植村 功吉 (南越前町)	立木材積測定競技会	安藤 一美 (鯖江市)
武生菊花コンクール	寺下知恵子 (越前市)		
今庄特産つるし柿品評会	蔵谷 一男 (南越前町)		
たんなん農産物共進会	友永 信之 (鯖江市)		

IT活用について

みなさんの『営農』にITを活かしていますか？
今回は、具体的な活用方法について、紹介します。

情報検索サイトの活用

HP(ホームページ)には、営農に不可欠な情報を得るためのものや、生活を潤すために利用するものなど、様々な情報があります。

お探しの情報を、情報検索サイトで見つけ出す習慣を身につけるととても便利です。

Eメールの活用

栽培技術を研鑽するには、営農指導員や普及指導員、あるいは、地域を越えた農業者同士の情報交換が不可欠ですし、直売に携わる農業者の方でしたら、消費者とのコミュニケーションが求められています。

このための画期的な手段が、電子メール、いわゆるEメールです。

Eメールは受け手の時間を全く制約しません。したがって、受け手が日ごろからきちんとメールを読み書きする習慣をつけておくと、とても有効なコミュニケーションの手段となります。また、電話よりもはるかに安い経費しかかからないことも、大きなメリットです。

緊急時の情報収集

農業経営は、常に自然災害のリスクを背負っているといえます。自然災害のような緊急時には、正確な情報をより早く収集することが大切です。

そのためには、日頃、どのHPに、どのような情報が掲載されているのかを把握しておくとい良いでしょう。

参考URL

・福井県農業気象情報	http://www.tenki.pref.fukui.jp/
・福井県河川・砂防総合情報システム	http://ame.pref.fukui.jp/
・福井県雪みち情報ネットふくい	http://info.pref.fukui.jp/hozen/yuki/index.html
・福井県広域災害・救急医療情報システム	http://www.qq.pref.fukui.jp/qq/men/qqtmenult.aspx
・西日本電信電話会社 災害用伝言ダイヤル インターネット情報	http://www.ntt-west.co.jp/dengon/

◎毎日新聞社主催の毎日農業記録賞において、有限会社グループつくしが最優秀賞を受賞

◎県内で初めて、旧今立町において農家民宿に取組む農業者が3戸誕生

◎水稻の直播面積が530haを突破(管内水稻作付面積の約1割となる)

◎エコファーマーが新たに28人認定され、全体で62人に認定証を授与

◎森林基幹道「今庄・池田線」を着工

◎下池田林業活性化グループが「池田スギ」の産直販売に取り組む

◎国営 日野川用水事業が完成

◎県営一般農道整備事業 水海地区が完成

◎日野川用水左岸幹線調整槽に描いた豊かな自然大壁画の除幕

◎集落排水事業 鯖江市 日野川西地区が完成



平成17年の
10大出来事

~ プチ林業体験を通じて ~ ~ 小中学生を対象に「森の学習会」を開催 ~

森林・林業について親しみを持ってもらうため、小・中学生を対象に「森の学習会」を開催しています。

南条中学校では、学校林の整備の一環として木材チップを敷いた歩道を設置しました。慣れない手つきでの整地作業は苦勞しましたが、歩道が完成した時の生徒達の顔は充実感でいっぱいでした。

また、河野小学校では、林内作業の体験(木登りと樹皮はぎ)と伐採したスギで木工を行いました。

子ども達は森林の中で木を見て触って加工して、森の恵みを身体全体で感じているようでした。

今後も子どもたちに森林・林業について、少しでも興味を持ってもらえるようにやり方を工夫していきたいと考えています。

南条中学校1年生：南越前町阿久和 歩道整備



河野小学校5年生：鯖江青年の家 木登り体験・木工作業

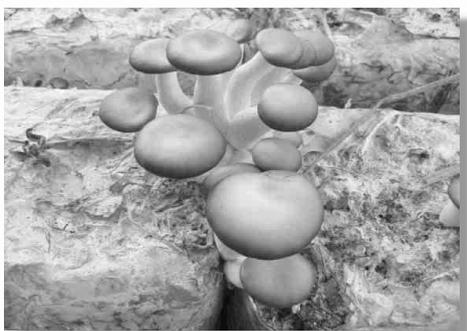


冬の特産 越前カンタケ

越前カンタケは、池田町の立枯木に冬に発生していた野生きのこから、組織培養によって選抜育成された福井県のオリジナルきのこです。平成4年に品種登録が行われ、栽培が始まりました。

肉質は弾力性に富み、柄もしっかりして歯切れがよく香りもよいが、味は淡泊と、きのことしては最高の性質を持っています。このためどのような調理方法にも向いており、おいしく利用できます。

しかし、カンタケはもともと「寒たけ」と書かれるように、12月から3月ごろの寒い時期だけに発生する冬季限定のきのこです。もし見かけることがあれば機会を逃さず、ぜひお試しください。





食育ボランティア

～「南越地区食育ボランティア情報交換会」を開催～ サンドーム福井

県では、平成17年度から学校や地域において、農業体験や料理体験などの食育活動に協力・支援していただける方を「食育ボランティア」として募集・登録しており、南越地区では、個人61名、団体30の方々に登録していただいています。

11月24日の情報交換会では、

- ・食育は体験が大事
- ・本来の食育は家庭でされるべき
- ・親子に食育をすすめても、親にその意識がない
- ・もっと学校や公民館を活用できないか

といった意見が出されました。

その他、「県の食育推進について」、「食育紙芝居の事例発表」があり、仁愛女子短期大学 谷教授からは、「食文化の伝承と食育のすすめ」と題して講演をいただきました。

その中で、**伝承料理を食べるだけでは食育にならない。そのいわれなどを家族が楽しく話しながら食事をし、子供たちに伝えていくことが、「食育」である**との言葉に、参加者は深く頷いていました。

現在、新規食育ボランティアの募集をしています。皆様の積極的なご応募をお待ちしております。

食育ボランティア申込先

農業経営支援部地域農業振興課 岸本（内線264）

申込期限 平成18年1月31日（火）



お知らせ

1.農薬の使用は、正確に!

農薬の適正使用は農家の義務です。誤った農薬の使用は法律違反であるだけでなく、食の安全をおびやかします。ラベルに書かれた適用害虫と使用方法を守って使用し、記録をつけておくことを習慣づけてください。

2.福井県特別栽培認証制度の申請は1月31日（火）までに

福井県特別栽培農産物の認証申請は、1月と6月に受付けています。米、大豆、野菜（春夏播き、周年作）、果樹については、今回必ず申請して下さい。

お問合せ先 農業経営支援部地域農業振興課 岸本（内線264）



材 料

- | | | | |
|------|--------|----|------|
| ・米 | 1カップ | ・水 | 3カップ |
| ・あずき | 1/3カップ | ・塩 | 小さじ1 |

作り方

- ①あずきは一晩水につけた後、固ゆでしておきます。
- ②米を洗って、米の3倍の体積の水を入れて煮ます。沸騰したら、①のあずきを入れます。
- ③塩で味を調えます。

あずき粥については、親鸞聖人のご命日に聖人がお好きだったあずき粥を食べて偲ぶことや、正月15日の「どんど焼き」の後に無病息災を願って食べることなどのいわれがあるようです。